

別紙 様式 1

技術開発全体計画

近畿中国森林管理局

課 題	67 スギエリートツリーの成長の実証と下刈の省略試験			開発期間	令和6年度～令和11年度 (2024年度～2029年度)		
開発箇所	鳥取県三朝町真山国有林 702い、703い 1.12ha	担当部署	技術普及課	共同 研究機関	森林整備課 鳥取森林管理署 林木育種センター関西育種場	技術開発 目 標	(1) ①
現 状 と 問 題 点	令和3年6月に閣議決定された「森林・林業基本計画」では、従来の施業方法等を見直し、開発が進みつつあるエリートツリー等の新技術を取り入れて、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の展開を着実に推進することとしている。また、令和3年5月に策定された農林水産省の「みどりの食料システム戦略」では、エリートツリー等の苗木の活用について、2030年までに林業用苗木の3割、2050年までに9割以上を目指すとされており、今後エリートツリー等の植栽が主体となっていく。一方、国有林ではC区分判定により下刈の要否を判定し、真に必要な箇所のみ下刈を実施することとしているが、エリートツリー植栽地でのC区分判定による下刈と冬下刈を含めた下刈の効果を検証し、下刈作業の省力化を検討する必要がある。						
開発目的 (数値目標)	スギのエリートツリーと普通苗（第1世代精英樹）の成長とコストの比較を行うとともに、成長に応じた下刈の実施により下刈回数 の削減、下刈時期の弾力化の可能性を検討する。						
開発方法	林木育種センター関西育種場から提供されるエリートツリーと民間事業者（認定特定増殖事業者）から購入するエリートツリー及び 普通苗（第1世代精英樹）を植栽し、植栽・下刈工期やコストの調査を行うとともに、無下刈区、C区分判定による夏刈区と冬刈区を 設け、毎年秋に、樹高、根元径、生存率等を調査し比較分析等を行う。						
年 度 別 計 画 及 び 経 費	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	令和10年度(2028)	令和11年度(2029)	
	<ul style="list-style-type: none"> 試験地の設定 植栽（秋植栽。2,000本/ha、2,100本/ha） 植栽工期調査 苗高、根元径調査 	<ul style="list-style-type: none"> 成長量等調査 次年度の下刈の必要性確認（C区分判定） 	<ul style="list-style-type: none"> 成長量等調査 次年度の下刈の必要性確認（C区分判定） 前年度の判定に基づき必要に応じ下刈（夏、冬） 下刈工期調査 下刈前に競合植生調査（7月） <small>※下刈工期は期間中1回調査 ※競合植生調査は下刈実施年度に調査。初回から2年経過後2回目調査（合計2回）。</small>	<ul style="list-style-type: none"> 成長量等調査 次年度の下刈の必要性確認（C区分判定） 	<ul style="list-style-type: none"> 成長量等調査 次年度の下刈の必要性確認（C区分判定） 前年度の判定に基づき必要に応じ下刈（夏、冬） 下刈前に競合植生調査（7月） 	<ul style="list-style-type: none"> 成長量等調査 	<ul style="list-style-type: none"> 完了報告
	—	—	※下刈実施を想定 —	—	※下刈実施を想定 —		
技術開発委員会 における意見	エリートツリーを造林地に植栽して森林施業と併せて効果を検証している事例はまだ少ないので重要な試験。						

課題67：スギエリートツリーの成長の実証と下刈り省略試験

1. 開発箇所：鳥取県三朝町 真山国有林 702い、703い林小班 1.12ha
2. 開発期間：令和6年度～令和11年度（2024年度～2029年度）
3. 目的：今後植栽の主体となるエリートツリーについて、森林管理局で実施している下刈りの要否判定に基づく下刈りの実施や冬下刈りを行い、植栽から下刈り終了時までのコスト比較と成長比較を行い、下刈り回数の削減、下刈り時期の弾力化の可能性を検討する。
4. 地況：傾斜：中 地質：花崗岩 土壌：BD 方位：西 標高：700～750m
5. 開発方法：林木育種センター関西育種場から提供されるエリートツリーと民間事業者（認定特定増殖事業者）から購入するエリートツリー及び第1世代精英樹を植栽密度2,000本/haで植栽し、無下刈区、C区分判定による夏刈区と冬刈区を設け、下刈り時期の違いが初期成長や生存率、工期に与える影響を調査するとともに、下刈り終了時までのトータルコストや初期成長の比較分析を行う。

試験地位置図



試験地概要

